

4. ドメスティック・バイオレンス(DV)

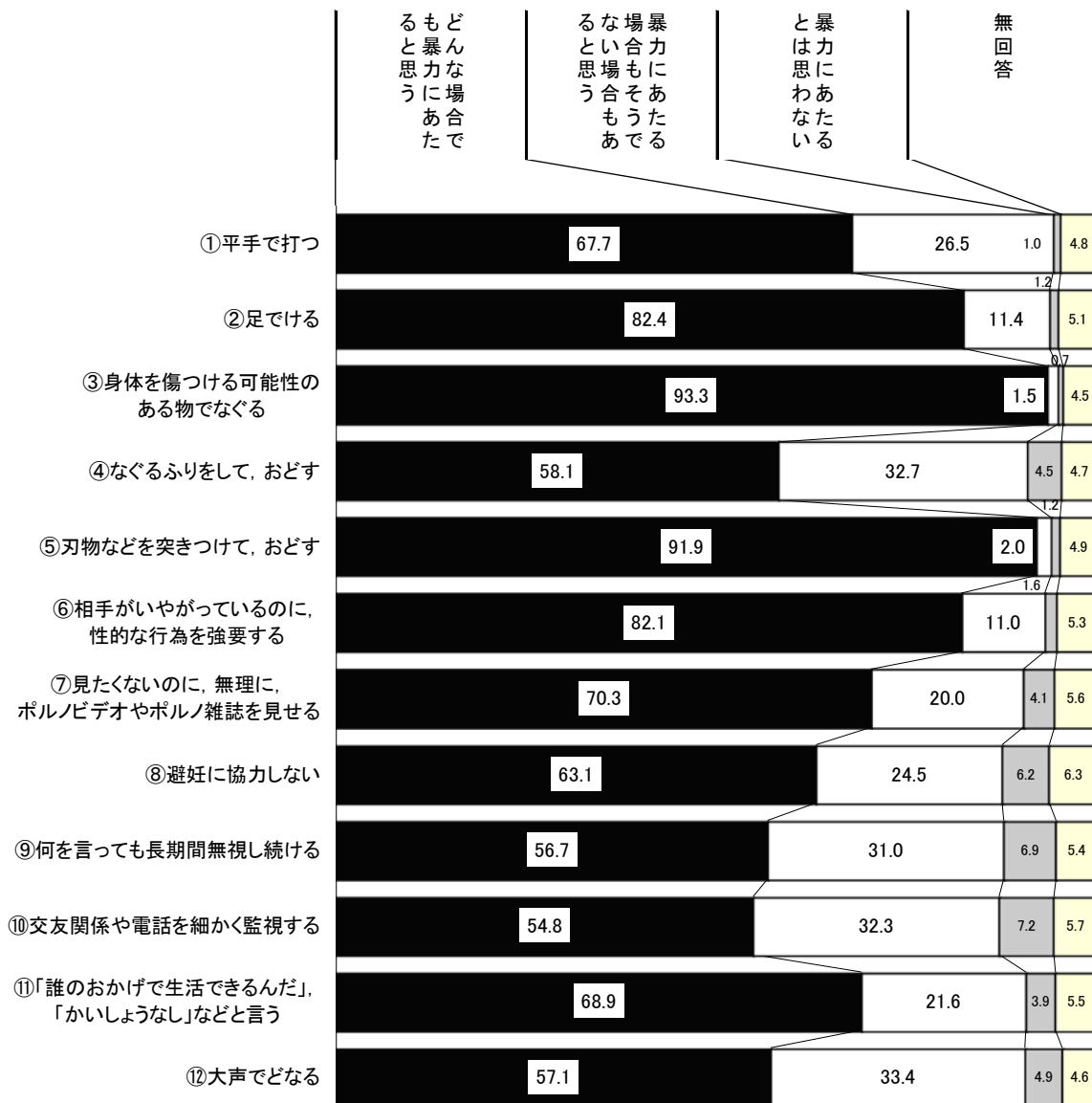
(1) 夫婦間やパートナー間での身体的・心理的暴力による被害

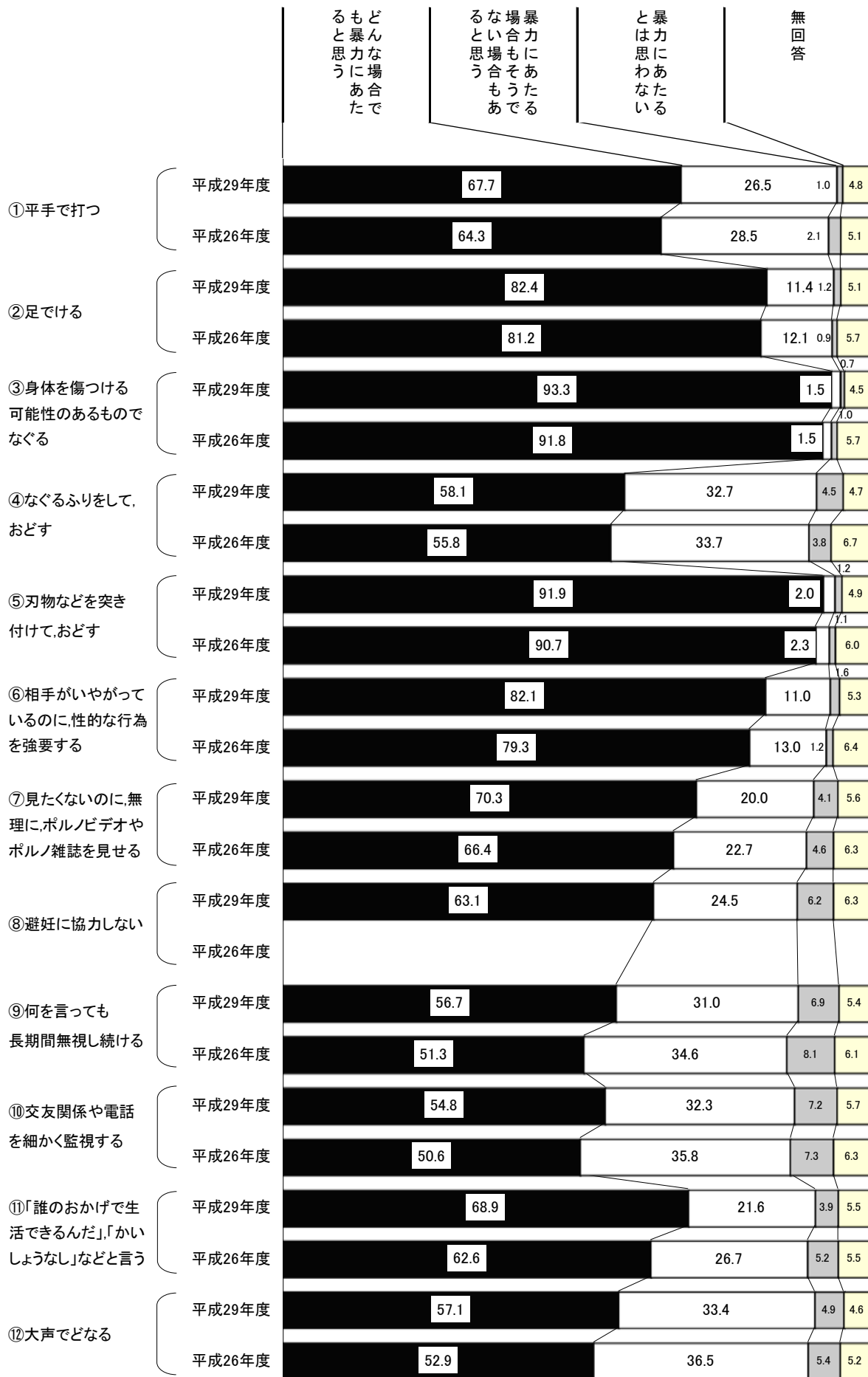
問 10 夫婦間やパートナーの間での身体的・心理的暴力による被害が問題視されています。あなたは、次のようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)や恋人の間で行われた場合、暴力にあたると思いますか。あなたのお考えに最も近いものの番号を1つずつ選んで○をつけてください。

心理的暴力についての認知率が特に上昇している

夫婦間やパートナー間での身体的・心理的暴力による被害について、「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した割合は、「③身体を傷つける可能性のある物でなぐる」(93.3%)、「⑤刃物を突きつけて、おどす」(91.9%)、「②足でける」(82.4%)、「⑥相手がいやがっているのに、性的な行為を強要する」(82.1%)が特に高い。

前回調査と「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した割合を比較すると、全ての項目で増加しており、特に「⑪誰のおかげで生活できるんだ」、「かいしようなしなどと言う」(6.3ポイント増)、「⑨何を言っても長期間無視し続ける」(5.4ポイント増)など、心理的暴力をDVと認める割合の増加幅が大きい。





(単位: %)

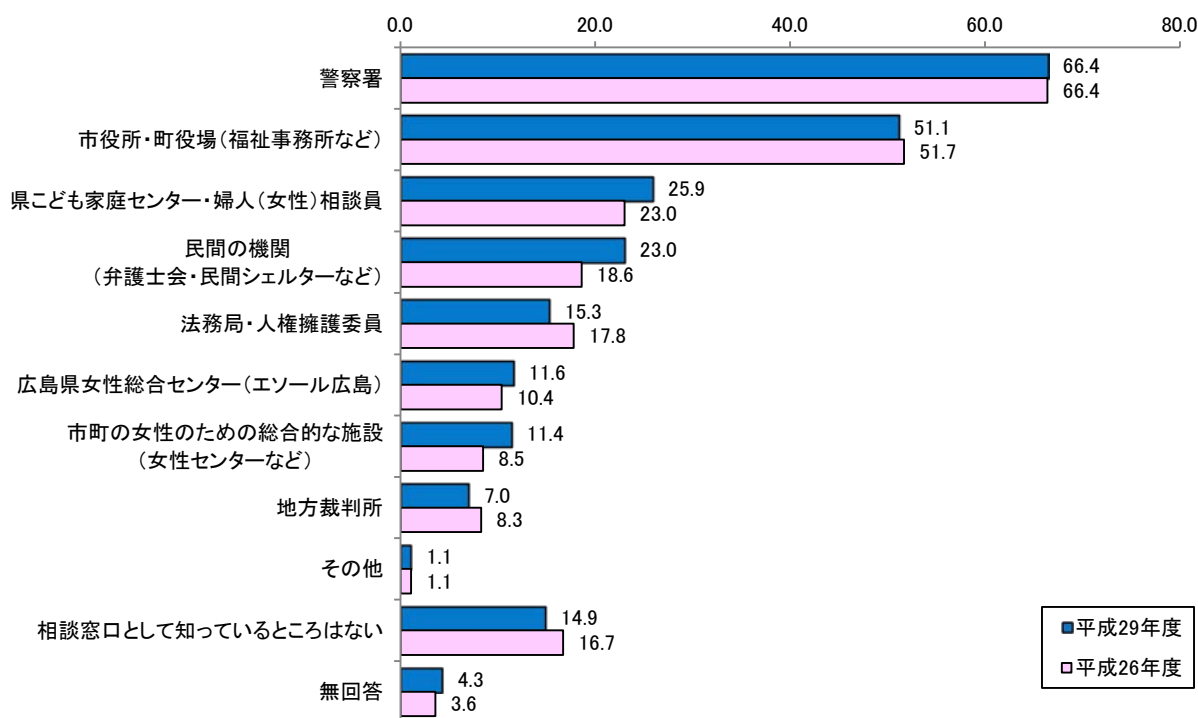
(2) 配偶者からの暴力について相談できる窓口

問 11 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口としてどのようなものを知っていますか。
次の中からすべて選んでください。(M. A.)

「警察署」「市役所・町役場」が半数を超える

配偶者からの暴力について相談できる窓口について、「警察署」と回答した割合が66.4%と最も高く、「市役所・町役場(福祉事務所など)」(51.1%)がこれに次いでいる。

前回調査と比較すると、順位には変動がないが、民間機関への認知率が4.4ポイントと上昇幅が大きい。



(単位: %)

<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏で「警察署」が6割を超え最も高く、次いで「市役所・町役場(福祉事務所など)」となっている。

広島地方生活圏は「民間の機関(弁護士会・民間シェルターなど)」(24.9%)が他の生活圏と比べて高く、備北地方生活圏では「県子ども家庭センター・婦人(女性)相談員」(34.0%)、「法務局・人権擁護委員」(28.4%)が他の生活圏と比べて高くなっている。

【性別】

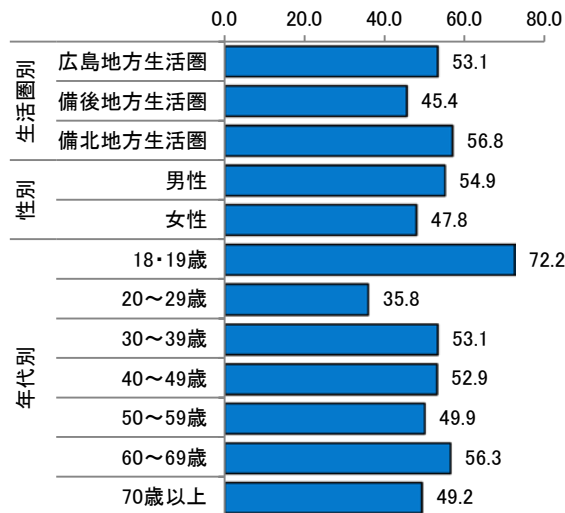
男性は「市役所・町役場」(54.9%)、「法務局・人権擁護委員」(21.4%)が女性と比べて高い。女性は「広島県女性総合センター(エソール広島)」(13.3%)、「市町の女性のための総合的な施設(女性センターなど)」(12.6%)が男性と比べて高い。

【年代別】

70歳以上において、「法務局・人権擁護委員」(23.6%)、「市町の女性のための総合的な施設(女性センターなど)」(14.3%)が他の年代と比べて最も高くなっている。「相談窓口として知っているところはない」は20歳代(21.4%)が最も高い。

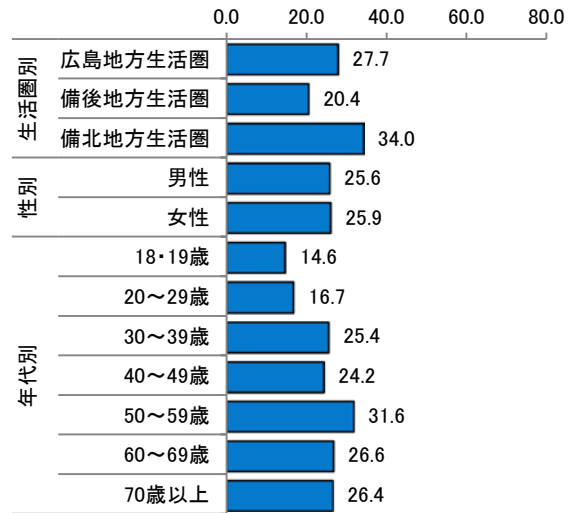
配偶者からの暴力について相談できる窓口(生活圏, 性, 年代別)

市役所・町役場(福祉事務所など)



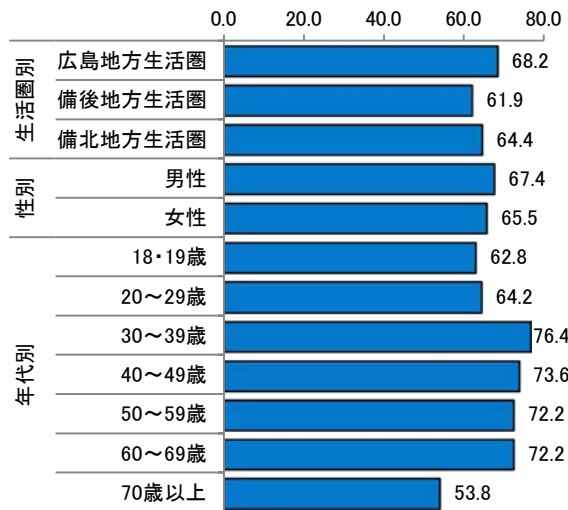
(単位: %)

県子ども家庭センター・婦人(女性)相談員



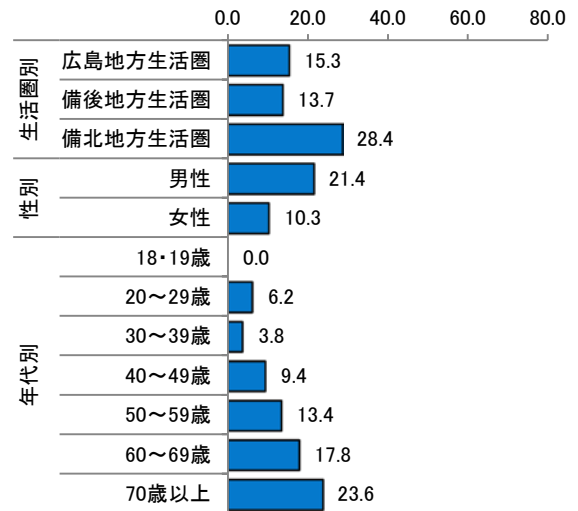
(単位: %)

警察署



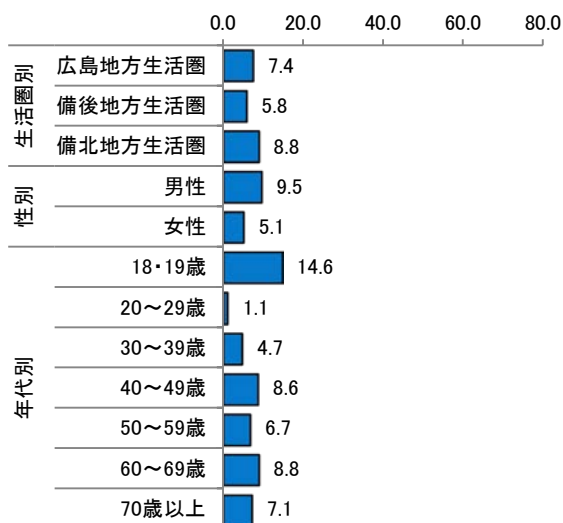
(単位: %)

法務局・人権擁護委員



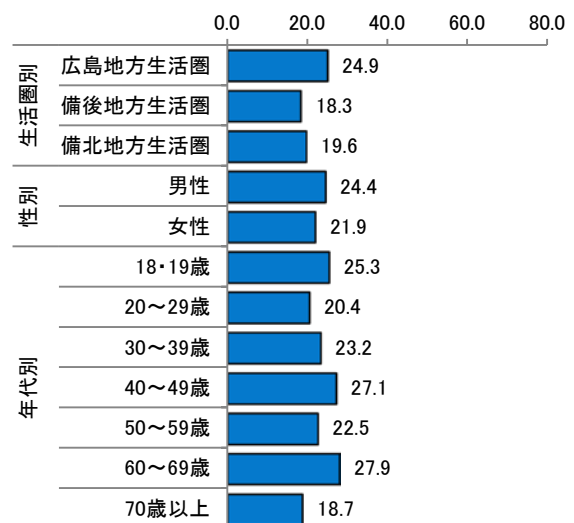
(単位: %)

地方裁判所



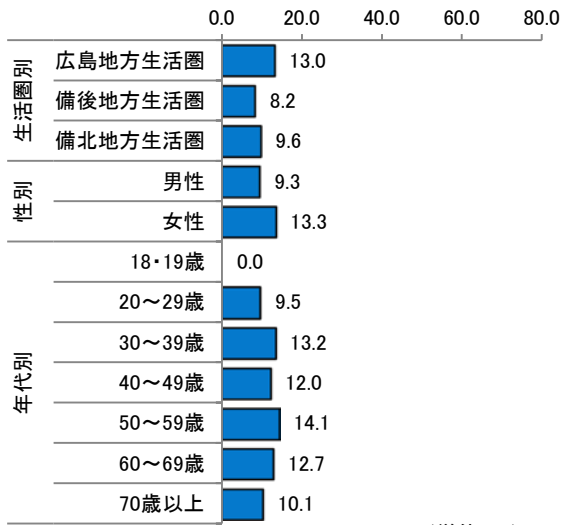
(単位: %)

民間の機関(弁護士会・民間シェルターなど)



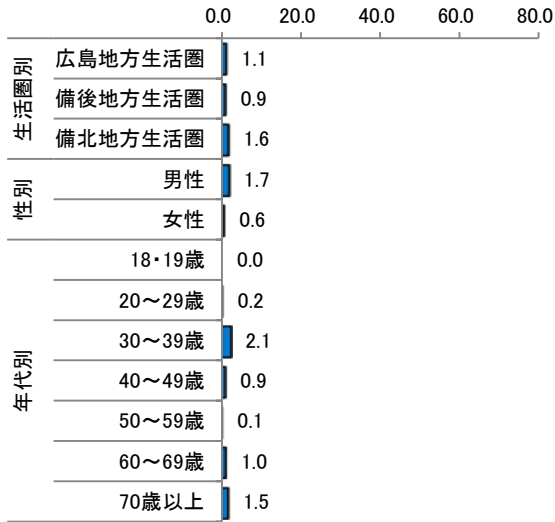
(単位: %)

広島県女性総合センター(エソール広島)



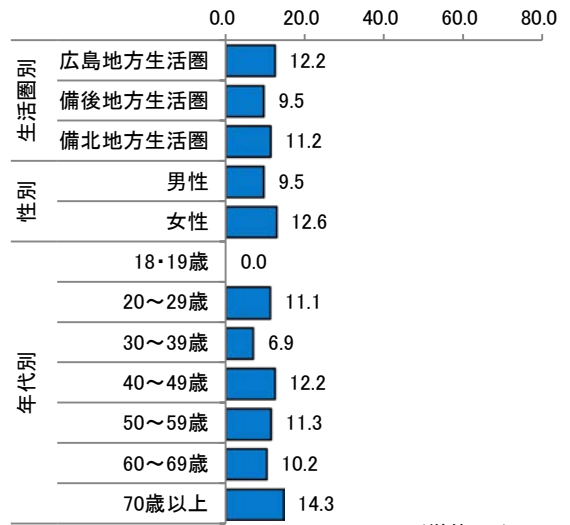
(単位: %)

その他



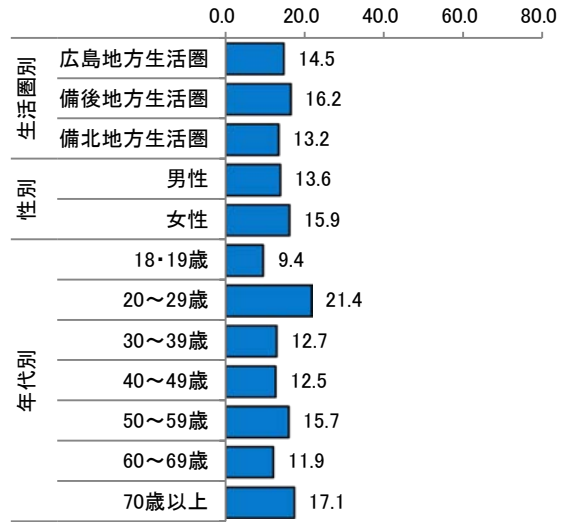
(単位: %)

市町の女性のための総合的な施設
(女性センターなど)



(単位: %)

相談窓口として知っているところはない



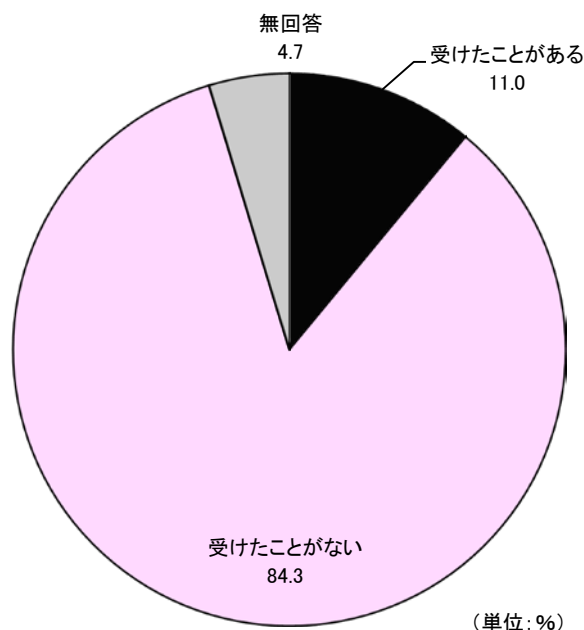
(単位: %)

(3) 配偶者からの暴力の経験

問 12 あなたは、配偶者から暴力(身体的・心理的)を受けたことがありますか。

配偶者からの暴力の経験は 60 歳以上の女性が 2 割

配偶者からの暴力の経験について、「受けたことがない」と回答した割合が 84.3%と8割を超え、「受けたことがある」が 11.0%と1割程度である。



<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏で配偶者からの暴力を「受けたことがない」が8割を超えており、「受けたことがある」は1割程度である。

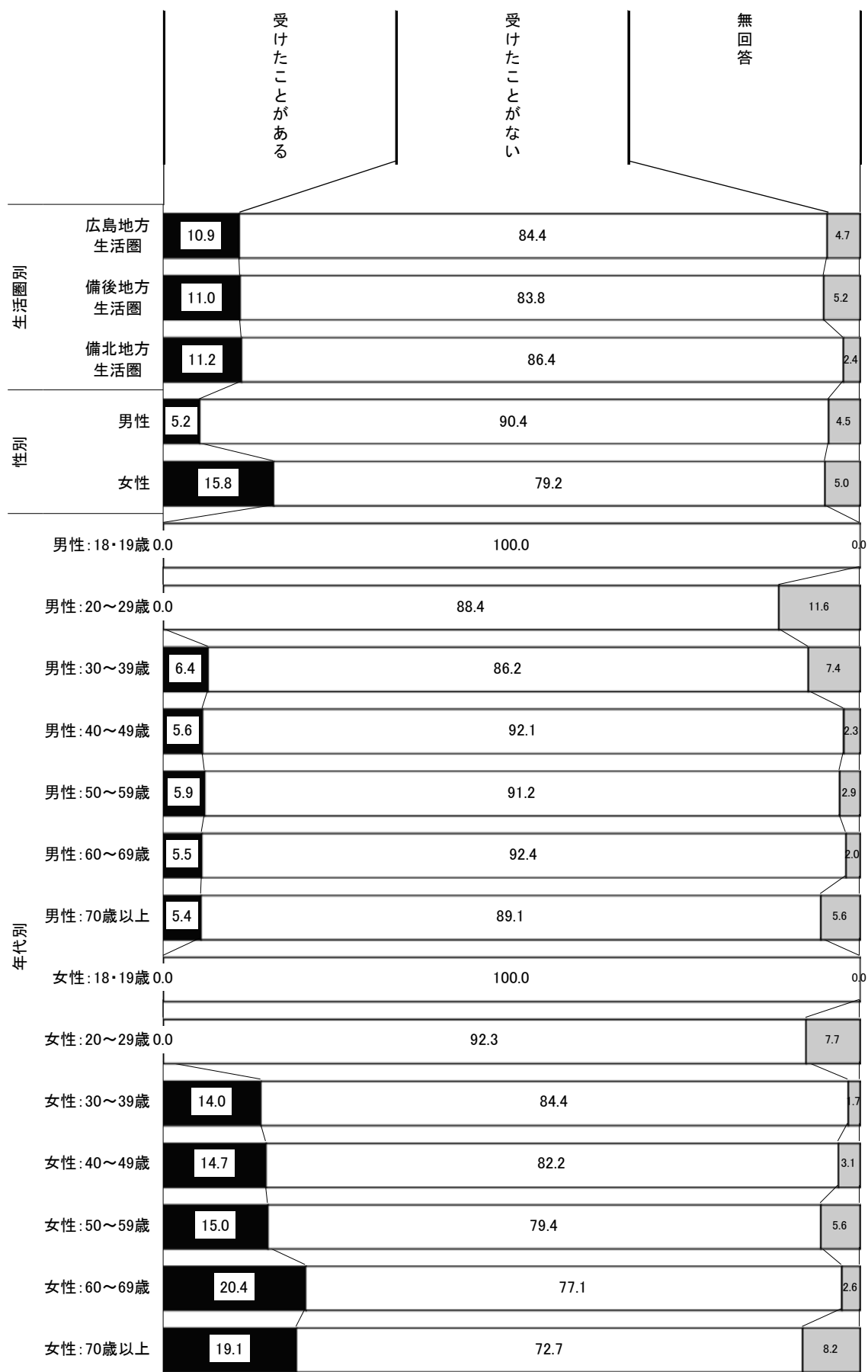
【性別】

女性は配偶者からの暴力を「受けたことがある」人が 15.8%と男性(5.2%)と比べて 10.6 ポイント高い。

【年代別】

女性 30 歳代以上は配偶者からの暴力を「受けたことがある」割合が高く、60 歳代以上は2割程度を占める。

配偶者からの暴力の経験(生活圏, 性, 年代別)



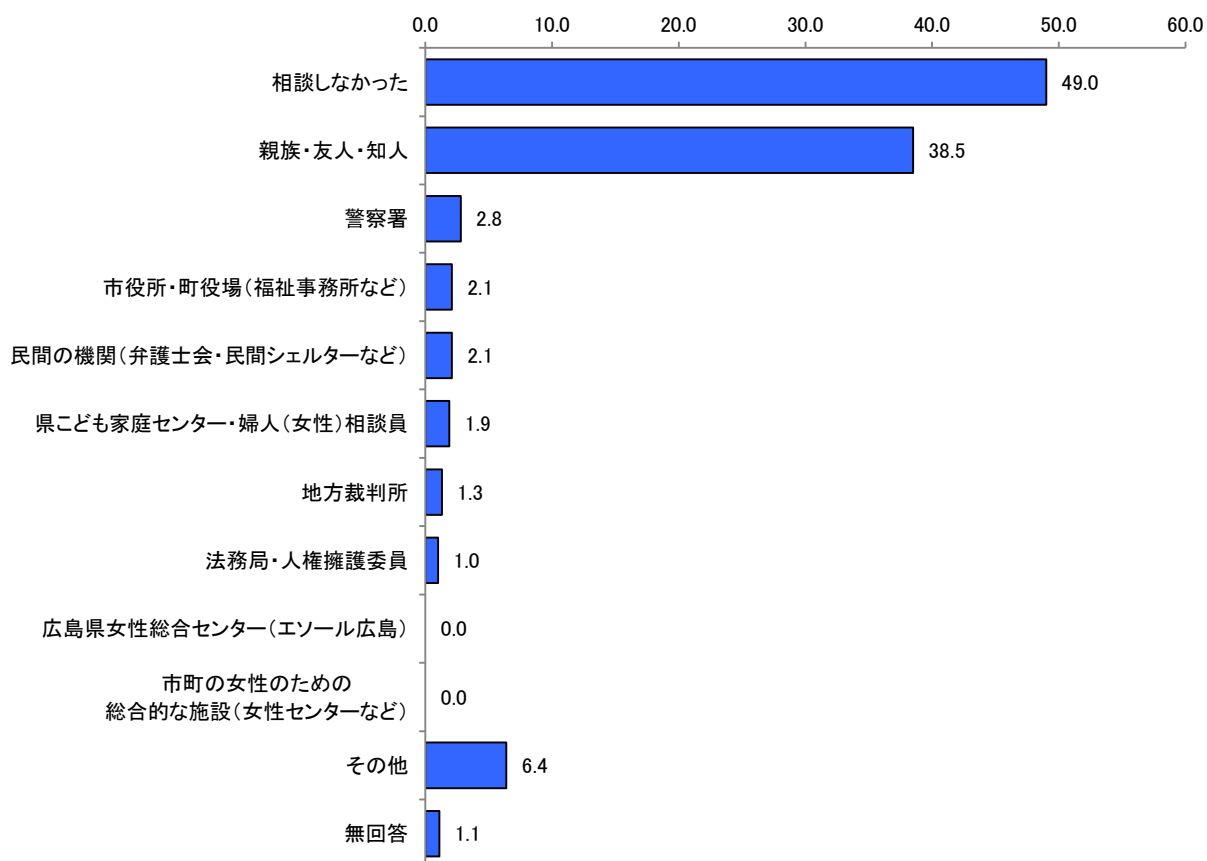
(単位: %)

(4) 配偶者からの暴力に対する相談先

問 13 (配偶者から暴力を受けたことがある人)あなたは、配偶者からの暴力について、どこ(だれ)に相談しましたか。次の中からすべて選んでください。(M. A.)

配偶者からの暴力を「相談しなかった」人が半数

配偶者からの暴力に対する相談先について、「相談しなかった」と回答した割合が 49.0%と最も高く、次いで「親族・友人・知人」(38.5%)が4割程度を占める。



(単位:%)

<属性による比較>

【生活圏別】

備北地方生活圏は「相談しなかった」(60.7%)が他の生活圏と比べて最も高く、最も低い広島地方生活圏(47.1%)と比べると 13.6 ポイント上回っている。

【性別】

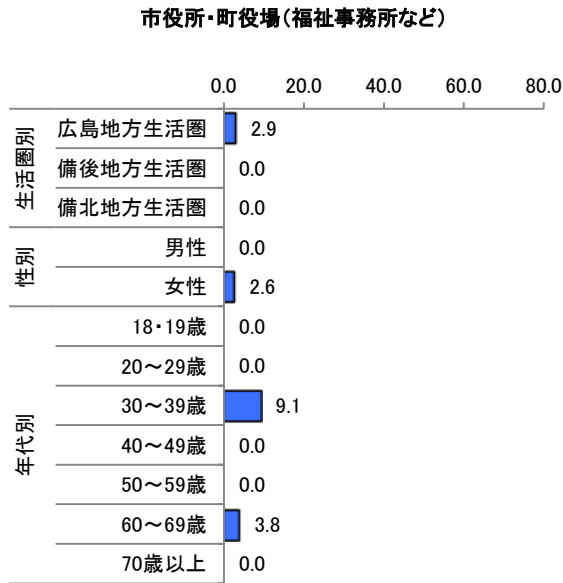
女性は「親族・友人・知人」(42.8%)が男性と比べて 20.1 ポイント高い。

【年代別】

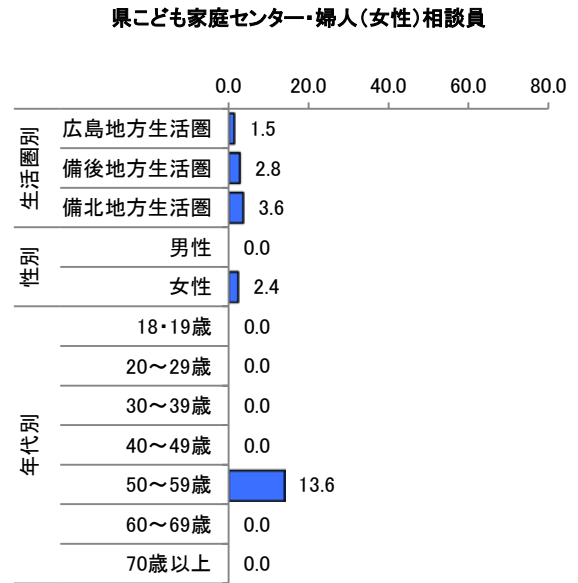
30 歳代は「警察署」(15.7%), 40 歳代は「親族・友人・知人」(71.5%), 50 歳代は「県子ども家庭センター・婦人(女性)相談員」(13.6%)が他の年代と比べて高い。50 歳代以上は「相談しなかった」が半数以上を占めている。

配偶者からの暴力についての相談先(生活圏, 性, 年代別)

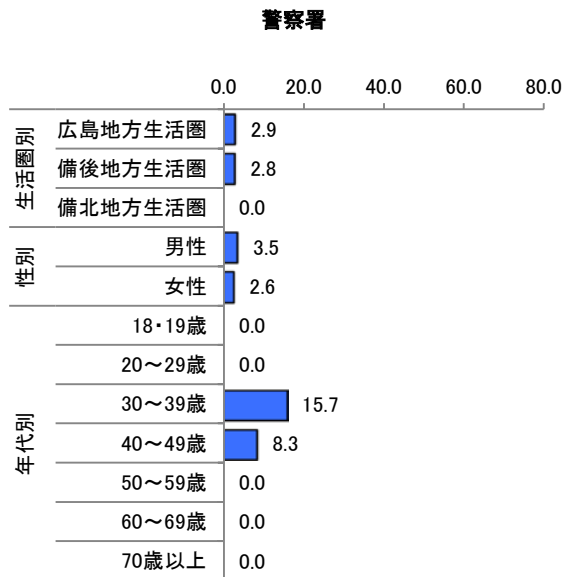
※18・19歳, 20歳代はサンプル数0



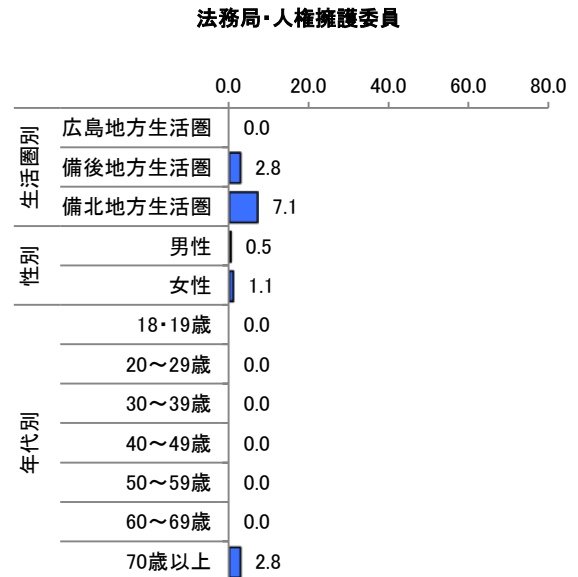
(単位: %)



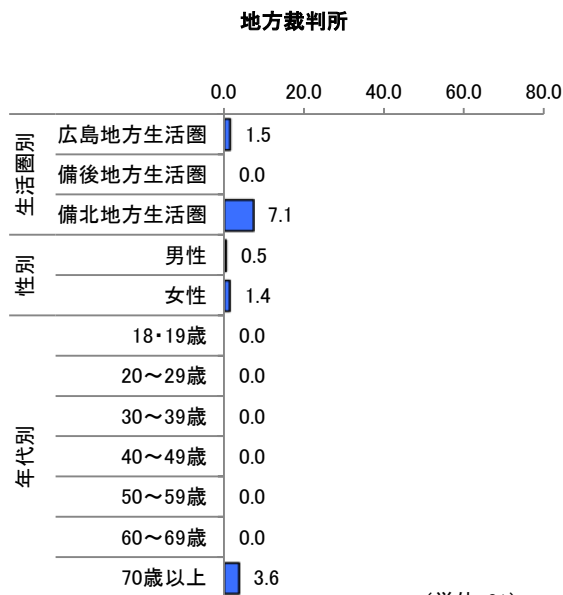
(単位: %)



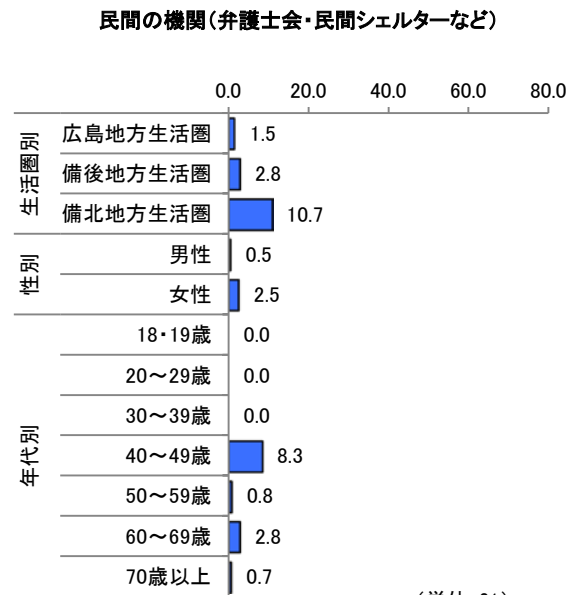
(単位: %)



(単位: %)



(単位: %)



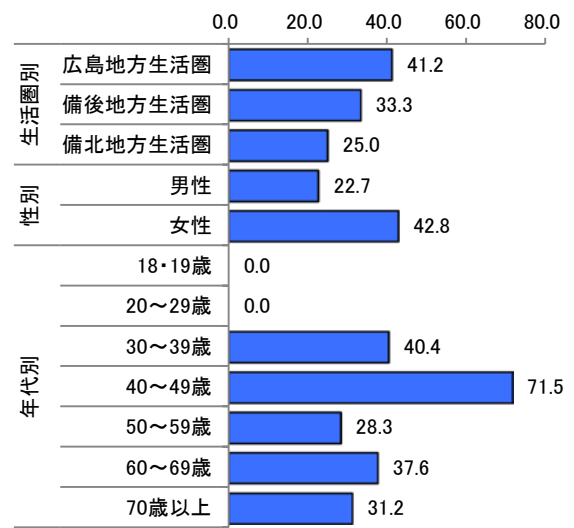
(単位: %)

広島県女性総合センター(エソール広島)

市町の女性のための総合的な施設(女性センターなど)

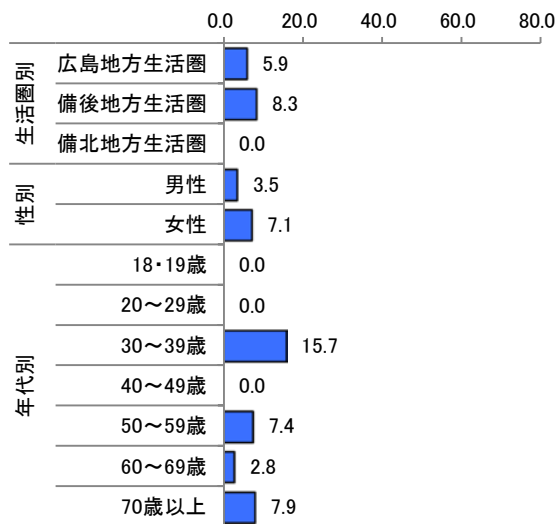
該当なし

親族・友人・知人



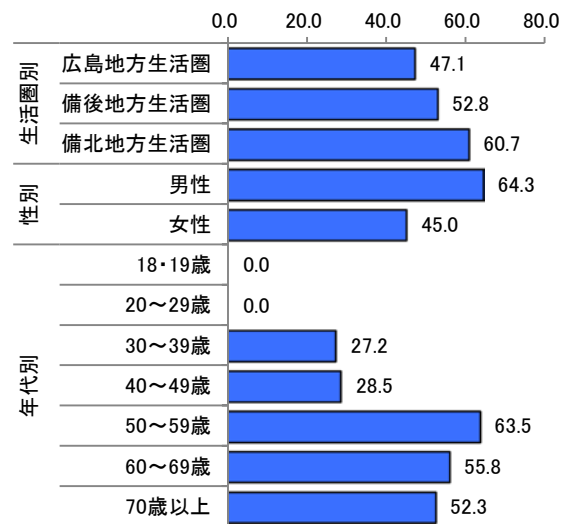
(単位: %)

その他



(単位: %)

相談しなかった



(単位: %)